



### ● 努力の継続次第で伸びしろ「大」！ ●

秋も深まってきました。先週までは校門近くの金木犀が甘い香りを漂わせていました。学校では、「スポーツの秋」「収穫の秋」「読書の秋」「芸術の秋」「勉強の秋」等、充実した学習活動に取り組んでいます。

「スポーツの秋」。秋季大運動会では、紅組団長・前迫蓮太郎さん、白組団長・押領司ほたるさんを中心に、子供たちは練習の成果を十分に発揮し、応援合戦や競技等を披露することができました。子供たちは、運動会に向けて、登校後や昼休みの時間を使って、三三七拍子や応援ダンス等の練習に取り組んでいました。上級生が下級生に優しく教える姿が随所に見られ、日を重ねるごとにチームが一つにまとまってきました。

町小学校陸上記録会では、5・6年生が限られた時間の中で練習に取り組み、全員がよい成績を収め、賞状を手にすることができました。特に、感動したのは400mリレーです。体育主任の先生と子供たちが、毎朝バトンパスの練習に取り組んでいた成果だと思えます。

「芸術の秋」。11月7日（月）の町音楽会に向けて、合奏唱の練習に取り組んでいます。音楽の時間になると、元気な歌声や楽器の音が校長室まで響いてきます。毎回毎回、上達しているのが分かります。

11月12日（土）のわくわくふれあいフェスティバル（学習発表会）に向けて、3年生以上の9名は10月から週1回、神舞保存会の協力を得ながら練習に取り組んでいます。6年生以外の子供たちは初めての舞になりますが、御指導のおかげで、日々上達しています。

これらの取組や結果から言えることは、努力次第で、できなかったことができるようになったり、できていたことがさらに上達したりするなど、子供のもつ伸びしろは大きいということです。昔から「努力に勝る天才なし」「継続は力なり」と言われています。努力を継続することで、本校の校訓でもある「自信と勇気をもつ」ことにつながると思えます。

### ● いけだサポート倶楽部始動！ ●

9月1日に発足した「いけだサポート倶楽部の活動が始動しました。

9月30日（金）には、3・4年生の図工単元「くぎ打ちとんとん」の学習で、大工をされている方がゲストティーチャーとして、金槌の仕組みや使い方等を教えてくださいました。子供たちは上手に釘打ちができるようになりました。

10月8日（土）のさつまいも収穫には、都合をつけて多くの方が参加してくださり、子供たちと交流を深めながら作業をしてくださいました。おかげさまで、予定時間より早く収穫をすることができました。

10月28日（金）は、モルック競技の指導に、未来づくり専門員の方が来校してくださいました。

11月以降も学校行事は続きます。子供たちはもちろん、私たち職員とも交流を深めていただき、学校・家庭・地域が連携して子供たちの育成ができたらと願っています。

校長 石踊 晴元

